

## 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172901852		
法人名	株式会社 ケアジャパン		
事業所名	グループホーム 永山亭 永山亭1		
所在地	旭川市永山4条22丁目 4番12号		
自己評価作成日	平成22年6月11日	評価結果市町村受理日	平成22年7月28日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0172901852&amp;SCD=320">http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0172901852&amp;SCD=320</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成22年7月7日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

車椅子の方が、安心して入浴が出来る機械浴が設置されており、不安な入浴を楽しんでいただいています。又、開設当初より、各ユニット毎に、アニマルセラピーとして、犬を飼育しており、入居者の方に役割として、餌やおやつをあげていただいたり、スタッフや入居者の方の癒しとなり、毎日楽しく生活していただいています。 ケア理念に沿って、1人1人のペースや意志を尊重し、毎日安心とゆとりある生活や、明るく楽しく生活をしていただけるよう、スタッフも明るく楽しく一緒に生活する一員として日々笑顔を決やさずに介護をさせていただいています。 又、今年は町内会の班長を引き受けさせて頂き、地域の方との更なる交流が図れるよう、取り組んでいます。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

町内会との協力関係構築に取り組み、役員を引き受けたり、緊急時に町内会長の協力を得られるよう働きかける等地域の人々との交流に努めている2ユニットのグループホームです。敷地内の畑では、茄子やキュウリ、とうきびや枝豆等の野菜が作られて、畑の手入れや収穫で利用者のたのしみごとへの支援が行われています。廊下やリビングなどの広い共用空間には、利用者が集い職員と談笑したり、趣味の作品を壁に掲示して季節感を採り入れるなど家庭的雰囲気をつくりあげています。家族会と共催する敬老会の実施で、本人との関係を深める取り組みや職員との交流に努め苦情や要望、不安な点など表せる機会を設けてそこでの意見を運営に反映される取り組みも行われています。

## ・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き生きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28)		

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>理念に基づく運営</b>						
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は、ホーム独自の理念を作り、ホーム内に明示しており、その理念の実践に向け、ミーティングを通じ、共有している。	事業所独自の理念をつくりあげ、ミーティング等を通じて話し合い、理念を共有している。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会班長を務めており、町内会の行事には、利用者・職員共に参加している。	町内会役員を引き受けたり、お花見や夏祭りの町内行事参加を通じて地域の人達と日常的な交流に努めている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内行事等参加はしているが、町内へのつながりは少なく、運営推進会議を通じ、町内への交流・地域貢献を出来るよう心掛けていきたい。			
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を通じ、家族会や町内会、近隣の住民の方の意見を聞き、事業所の向上へ生かせるように、取り組みを行っている。	運営推進会議では、家族会や町内会長等の参加を得て、スプリンクラー設置状況や避難訓練等具体的内容について話し合っている。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の担当者とは定期的に連絡を取っており、相談や報告を行っている。	市担当者とは、日常業務を通じて情報交換を行い、連携を深めるように努めている。		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の資料を読み職員同士確認をしているが、徘徊の恐れがある入居者もいる為、玄関ドアに鈴を付けたり、日勤者が出勤するまで、自動ドアの電源は切っている。	身体拘束廃止マニュアルの作成で管理者及び職員の研修が行われ認識の共有が行われている。また、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修や、ミーティングを通じ、状況に応じた対応について話し合いをし、言葉遣いや態度など十分に注意をし、防止に努めている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会がない為、利用していない。			
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や見学時は、管理者やケアマネが同行し、詳しく説明をし、ご家族や利用者にも納得して頂いてから、契約に至っている。			
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	事務所窓口に意見箱を設置しており、意見が入っていた場合は、スタッフ間で話し合いをし改善している。	家族や来訪者等が管理者、職員並びに外部者へ意見や苦情等を言い表せるように苦情等の意見箱を設置し、市町村等の相談窓口等も掲示している。		
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度スタッフ会議を行い、その場で意見を話したり、何か案があった際は、朝の申し送り時に話し合うなどしている。	月一度開催されるスタッフ会議で意見や要望、提案を聞くよう機会を設けて、運営に反映させている。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得、勤務状況により、昇給昇格がある。又、業務内容を職員の考えに任せ、職員は向上心を持ってるように、努めている。			
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修など、職員が参加したいものがあれば、積極的に参加させてくれている。			
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修参加等で、同業者との交流の機会があり、サービスの質を高めていく取り組みをしている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	常に入居者の話に傾聴し、その時の表情や動作を見て、コミュニケーションを図っている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面接の際に、ケアマネからご家族へ困っている事などを聞き、今後の関係性へとつなげられる対応をしている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人やご家族の問題を把握し、ご家族と相談しながら、何が必要かも考え対応をしている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家族の一員として思ってもらえるよう、日頃からコミュニケーションを重視し、信頼関係を築けるように努力している。		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月に1度、写真を掲載した手紙をご家族の方へお送りし、近況報告や受診時の結果等を伝えたり、スタッフ側からの要望等も書いている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	兄弟・姉妹やご近所の方達への電話や手紙を送りたいと希望があった際は、対応している。	地域の夏祭り等の行事参加や馴染みの人との交流で戸外に出かけられる機会を多くもてるように支援している。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士、ゲームや作品作りを楽しまれたり、入居者同士の会話も見られる。難聴等で、コミュニケーションが取りづらい方は、職員が間に入り対応をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談があれば、対応をしている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で、コミュニケーション等を通じて得た情報を元に、希望・意向を把握し反映出来るよう努めている。	センター方式を活用して、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族の方から得た情報や、本人とのコミュニケーションを通じて得た情報を職員で共有し、把握している。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その日の体調や精神状況にあった、一人一人の一日の過ごし方を支援している。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当職員が中心となり、本人の状態を把握し、ご家族や職員全員の意見を反映し、ケアプランの作成に活かしている。	センター方式を活用して本人、家族の意見や思いを反映するようにしている。また、カンファレンス、モニタリングを通じて介護計画に職員の意見を反映している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録は全職員にて行っており、ケース記録にケアプランを挟み、チェックするようになっており、全職員の意見を反映出来るようになっている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	出来る限り、本人や家族の要望に柔軟に対応出来るよう、取り組みを行っている。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	旭川大学へのボランティアの呼びかけや、ボランティアの受け入れを行っているが、不十分である。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人や、ご家族の希望される医師や病院を、入所後も通院対応している。又、必要に応じて、往診等で連携を図っている。	本人や家族の希望するかかりつけ医の利用や医師の往診等適切な医療を受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週2回ではあるが、入居者の健康相談を行い、健康状態の把握をし、必要に応じ主治医への連携を図っている。			
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は、面会や病院職員を通じ、状況の把握に努めている。ご家族の方とも連絡を取り、相談をし柔軟に対応出来るよう努めている。			
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医、ご家族とも話し合いをし、本人にとって最善の対応を考え、取り組んでいる。	本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、事業所ができることを十分に説明しながら方針を職員間で共有している。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な訓練等は行っていないが、職員同士話し合い、事故発生時適切な対応が出来るよう努めている。			
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町内会を通じ、近隣住民の協力の中、通報訓練や避難訓練を実施している。	昨年、スプリンクラーの設置が完了している。また、消防署の協力を得て、年2回避難訓練を実施し、設備の定期点検も行われている。	スプリンクラー設置後の避難誘導方法、着替えの衣類等再度検討されることを期待します。また、喫煙される利用者のタバコやライター等の物品の管理についても家族を含めた中で再度検討されることを期待します。	
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格の尊重と、プライバシーの保護を常に考え、態度や声掛けに気をつけて対応をしている。	身体拘束廃止委員会を通じて、誇りやプライバシーを損ねるような言葉がないように周知している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定出来るよう、声掛けや傾聴をしているが、本人の思いや希望を十分に引き出せていない部分もある。			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の生活リズムを把握し、出来る限り入居者本位の生活ペースを優先している。			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容をする方がほとんどではあるが、カット・パーマ・毛染め等本人の希望に添った対応をしている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	状況に応じ、準備や片付け等をお手伝いして頂いている。又、職員も一緒に食事を摂り、会話をしながら楽しんで頂けるよう、配慮している。	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、毎日の調理や食事の準備等楽しんで頂けるよう検討している。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事チェック表にて確認をしている。制限のある方の管理や、水分・食事の少ない方には、好みの物を提供をし、常時観察を行っている。			
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自力にて口腔ケアを行えない方の介助をし、その際には、口腔状態の把握に努めている。			
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表を利用し、個別に排泄パターンを把握し、排泄はトイレを基本に状況に応じ、声掛けや誘導をしている。	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、トイレで排泄できるように時間を見計らって支援している。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分や排泄表の確認や、入居者の方の話を聞き、排便状況の把握をしている。乳製品・水分摂取や軽い運動を促し、便秘の予防に努めている。			
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴時間、曜日は決まっているが、本人の希望を取り入れ行っている。	一人ひとりの希望やタイミング、生活習慣に応じて支援している。また、本人が希望すれば大きな浴槽で入浴できるように浴槽が二つ用意されている。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転せずに良眠出来るよう、日中帯は本人の意思を考慮しながら、レクリエーション等の参加を促している。			
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者の方の内訳を見やすいようファイルにまとめ、薬の目的・副作用・医師の指示など全職員へ報告し、観察や状態の把握に努めている。			
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	閉じこもり防止や、季節感を感じて頂けるよう作り物や洗濯物たたみ、レクリエーション等楽しみのある日常生活を送れるよう努めている。又、畑の手入れや野菜の収穫等も一緒に行っている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>季節・天候や本人の希望を取り入れ、出来るだけ外出の機会を設けているが、冬期間はホームでの生活が主となっている。</p>	<p>一人ひとりの希望にそって、イチゴ狩りやさくらんぼ狩り、動物園や博物館見物、お花見や日常の散歩等戸外に多く出かけられるように支援している。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自己管理の出来る方は、本人に任せ、管理の出来ない方は、本人やご家族の了解の元、ホームにて管理している。</p>			
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望があれば、その都度対応している。</p>			
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節ごとに、入居者とスタッフとの共同作品の展示等、心地よい環境づくりに努めている。</p>	<p>リビングや廊下の壁には、季節毎の飾りつけやソファや椅子等が配置され、本人が居心地良く過ごせるよう工夫している。また、利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>好きな時間に好きな場所で、自由にくつろげる様、ソファや一人掛けの椅子等設置している。</p>			
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして</p>	<p>自宅で使用していた家具や、使い慣れた馴染みのものや、ご家族の方からの手紙・写真等を飾ったりなど、一人一人が過ごしやすいそれぞれの空間作りに努めている。</p>	<p>居室は、本人や家族と相談しながら、使い慣れた家具や寝具、家族の写真等が持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>日常生活動作を自立して出来るよう可能性を探し、生活全体に意欲が持てるよう支援している。又、その人らしく生活出来るよう安心・安全・快適な生活環境をご家族・職員と共に話し合い、工夫している。</p>			



## 目標達成計画

作成日：平成22年6月11日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	自己決定できるよう声掛けなどしているが、日常生活の中では、本人の思いや希望を十分に引き出せない部分もある。	日常会話の中で、スタッフが個々の希望や要望をききだし、一人一人に合った対応をしていく。	知り得た情報をスタッフ内で共有し話し合う。	12ヶ月
2	3	町内会の行事などの参加はしているが、地域の人々との交流が少なく、地域の人々に向けて活かせていない。	町内会の行事だけではなく、その他の地域の人々とも接する機会を増やす。	ホームでもボランティアによる行事を増やし、地域の方々にもホームに来所してもらい認知症の方々との交流を増やす。	6ヶ月
3	29	ボランティアなどの呼びかけや、受け入れを行っているが不十分である。	今以上積極的に旭川大学の学生などに呼び掛けを行う。	今までは、行事直前に学生へ声を掛けていたが、今後は、早めに声を掛けていく。	6ヶ月
4	8	権利擁護に関する制度を学ぶ機会がない為、全職員が制度の理解をしていない。	全職員が制度に理解し、個々の必要性を関係者と話し合い出来るようにする。	権利擁護に関する資料を作成し、勉強会を行う。	6ヶ月
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。

## 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172901852		
法人名	株式会社 ケアジャパン		
事業所名	グループホーム 永山亭 永山亭2		
所在地	旭川市永山4条22丁目 4番12号		
自己評価作成日	平成22年 6月7日	評価結果市町村受理日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

車椅子の方が、安心して入浴が出来る機械浴が設置されており、不安な入浴を楽しんでいただいています。又、開設当初より、各ユニット毎に、アニマルセラピーとして、犬を飼育しており、入居者の方に役割として、餌やおやつをあげていただいたり、スタッフや入居者の方の癒しとなり、毎日楽しく生活していただいています。 ケア理念に沿って、1人1人のペースや意志を尊重し、毎日安心とゆとりある生活や、明るく楽しく生活をしていただけるよう、スタッフも明るく楽しく一緒に生活する一員として日々笑顔を決やさずに介護をさせていただいています。 又、今年は町内会の班長を引き受けさせて頂き、地域の方との更なる交流が図れるよう、取り組んでいます。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--	--

## ・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の開 係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の 理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き生きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごしている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は、スタッフで考え、ホーム内に明示しており、各自理解してもらえるよう、話している。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の行事に参加させて頂き、交流を図っている。又、今年度は、町内班長を引き受けさせて頂き、さらなる交流が深められるよう、努めている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議において、町内会長との交流が増えた事により、地域の方との交流は増えてきたが、認知症の方の理解については、現状では、出来ているとは言えない。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族の方や、町内会等の意見を聞き入れ、サービス向上につなげている。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の担当職員には、定期的に相談や報告を行なうと共に、疑問点については説明を受け協力を得ている。		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	会議やミーティング等で話し合い、スタッフ一人一人が自覚すると共に、拘束をしないで介護が出来る方法を、日々考え問題発生時等検討している。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	防止法について学ぶ事は少ないが、虐待の無いよう、スタッフ一人一人が自覚し介護を行なっている。又、打撲跡についても、原因を探り、皆で共有する事にて、防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現段階では、入居者に対象者がいない為、学ぶ機会は設けていない。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、書類や口頭にて理解して頂ける様説明を行うと共に、疑問点についても、分かりやすく説明をし、納得していただいている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に内部・外部の受付を記載している。又、苦情や意見があった際は、全スタッフに報告し、速やかに対応している。面会時等、意見を聞きだせるよう、声かけしている。		
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング時や、常日頃意見を聞けるよう対応している。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	グループホーム協議会への入会にて、研修等の参加を推進したり、資格取得時には、給料の見直しをする等、働きやすい環境を作れるよう代表者は努めている。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1度、勉強会の機会を設け、スタッフ各自で、いろいろな課題を見つけ、1人ずつであるが発表し、皆で共有をしている。又、ホーム外での研修も、希望者をつのり、参加できる機会を作っている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は、地域包括の研修等で、意見交換はしている。又、スタッフも研修参加時等、各自で意見交換しているが、充分とはいえない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前から、本人家族よりアセスメントを取り、利用者の不安を把握をしている。日々利用者の話に耳を傾け、不安の軽減が出来る様、取り組んでいる。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時等、家族の思いや希望を聞き、その都度相談・納得していただけるよう話し合いをし、信頼関係を築けるよう努力している。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族の問題を把握し、まず何が必要かを考え対応している。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の経験を尊重し、生活の中で活かせる様、取り組んでいる。		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の方も一緒に参加していただける行事を取り入れ、共に楽しんでいただいたり、家族の協力を得ながら、本人が不安なく過ごせれるよう、面会に来て頂ける様、お願いをしている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会の時間や制限をもうけず、いつでも馴染みの方が面会に来ていただいている。		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入り、利用者の方全員で参加出来るようなレクを取り入れている。日常会話も職員が間に入り、共通会話にて、関わり合いの場を増やしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された方のご家族等から相談等あれば、対応している。又、長期入院となられた方については、時折面会にて本人や家族の方の支援に努めている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご家族やスタッフの話合いにて、本人本位になるよう検討している。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	馴染みのある家具を持って来て使用して頂いたり、一人一人の生活歴の把握に努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の現状を把握し、出来る事はご自分でして頂けるよう努めている。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者が中心となり、スタッフ・家族との話し合いにて、介護計画を作成している。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録を行い、スタッフ間の話し合い等にて、情報を共有し、サービスを行なっている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況の変化があれば、スタッフ・家族間にて話し合いをし、ニーズに対応出来る様に努めている。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事の参加や、近隣の公園等の散歩をしたり、季節にあった行事作りをし、日々の生活をたのしめる様に支援している。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族やご本人の希望にて、かかりつけの病院を受診している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員により、週2回の健康相談を行い、入居者の状況把握をし、主治医との連携を図っている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は、面会にて看護士等を通し、状況把握に努めている。又、ご家族の方とも連絡を取り、相談しながら対応をしている。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人やご家族の方の意見を基に、主治医と相談し連携を図りながら、全員で方針を共有し、支援している。又、本人の苦痛や不安、ご家族の方の不安等軽減出来る様取り組んでいる。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルは作成しているも、定期的な訓練はしていない。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を実施している。火災や緊急時の対応について実技を伴う訓練が、定期的実施され、消火設備の点検も行なわれている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の誇りやプライバシーを尊重した声掛けや、個人情報の管理についてスタッフで徹底されている。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人に合わせた声掛けを行ないながら、自己決定出来る様に支援している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースを大切にして、散歩や買い物・レクリエーション等、本人の希望に沿った支援に努めている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	理美容は、本人やご家族の方と話し合いをし希望する店に行けるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の嫌いなものを聞き出し、嫌いな物の時には、違うものにて対応している。おやつ作りは、時々一緒に行っており、食器拭きは、毎日お手伝いして頂いている。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事チェック表にて、日々状況把握をし、水分制限の方は、職員が1日の摂取量管理をしている。又、個々の好みの飲み物等で工夫し、対応している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床・就寝・毎食後、口腔ケアを行なっている。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排尿・排泄表にて、時間を見ての声掛けにて誘導を行っている。又、状況に応じて、紙パンツから下着への着用にて、対応をしている。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄表にて、毎日の排泄状況の把握をしている。又、水分摂取や食材を工夫したり、毎日の体操を行なっている。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	今現在、曜日毎や失禁時の入浴となっており、希望に応じた入浴は出来ていない。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中無理のないよう、レク等の参加にて活動をしていただき、短時間の午睡にて、休息をしていただいている。又、日中は不安のないような声掛けをし、安心して良眠出来る様心掛けている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的・副作用は主治医のお話やお薬内容表にて確認している。又、連絡帳にて、職員全員へ報告や口頭説明にて、確認している。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	レクにて飾り作り等を行なったり、行事や外出等も取り入れ、気分転換出来る様取り組んでいる。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>天気の良い日には、近くの公園や町内まで散歩をし、ホーム前にベンチや花壇を置き、日光浴をしています。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人が所持していた際に無くなったという事が度々見られることがあり、事務所でお預かりをし、必要時手渡しをしています。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望があった際、その都度対応している。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>歩行の妨げにならないように配置をし、明るさや清潔にも注意を払い、消毒の徹底をしている。又、花や展示物等で、季節感のある物を配置している。食器の片付け等、気軽にさせていただいている。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファ等は、1人掛け・2人・3人様と様々用意をし、その方に合った居場所の提供に注意しています。</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>その人、それぞれの個性に合った居室になるよう、本人と相談をし、写真・絵・花・カレンダー等を工夫して配置をしています。</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>安全では、手すりや、入浴時では滑り止めマットを使用し注意している。又、個々の状態に合わせ、話し合いをしながら、対応している。</p>		

## 目標達成計画

作成日：平成 22 年 6 月 14 日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	急変時や事故発生時に備えての、応急手当や初期対応の訓練を、行っていない。	負傷時、急変時の対応を全職員で理解する。	看護師にて、応急手当の細かなマニュアルを作成していただき、月一度の勉強会時に、職員全員で、一つ一つ実践していく。	6ヶ月
2	3	地域の方に、認知症の方の理解については、あまり出来ているとは言えない。	今より、地域の方との、交流の場を多くする。	今まで同様、町内会行事の参加や、地域の方も参加出来る様な行事を増やし、交流していく事で、少しずつ認知症について、理解して頂けるよう努める。	12ヶ月
3	45	今現在、希望に応じての入浴は出来ない。	本人の意志を尊重出来る様な、入浴が出来るよう、心掛けていく。	本人の意志や、希望(時間帯)に沿った入浴が出来る様な職員の配置をし、出来るだけ希望に応じれるよう配慮していく。	12ヶ月
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。